ブラケット カーポートライト(PJ−12型)

取付説明書

施説No. HHLYM55-S3A1

お願い 施工時、ご使用の前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

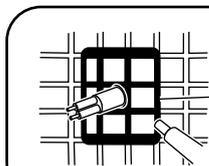
工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

必ず守る

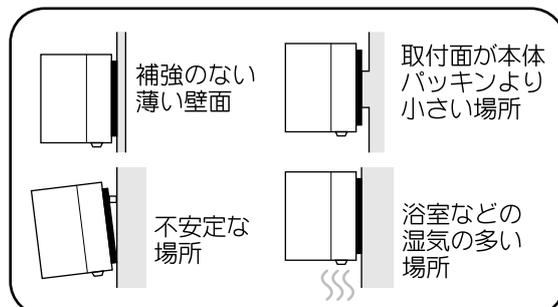
■**器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う**
取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■**タイル面など取り付け面に凹凸がある場合は、すき間を埋める**
本体パッキンと取り付け面とのすき間を防水シールなどで埋めてください。

●防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

■**器具表示の指定方向に取り付ける**
指定方向以外に取り付けた場合、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■**交流100ボルトで使用する**
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

禁止

■**次のような場所には取り付けない**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●**この器具は防雨型・壁面取り付け専用です。**

アース線接続

■**接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行う**
接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

⚠注意

禁止

■**温度の高くなるものの上に取り付けない**
火災の原因となることがあります。
●**ガス機器や排気筒の上に取り付けないでください。**

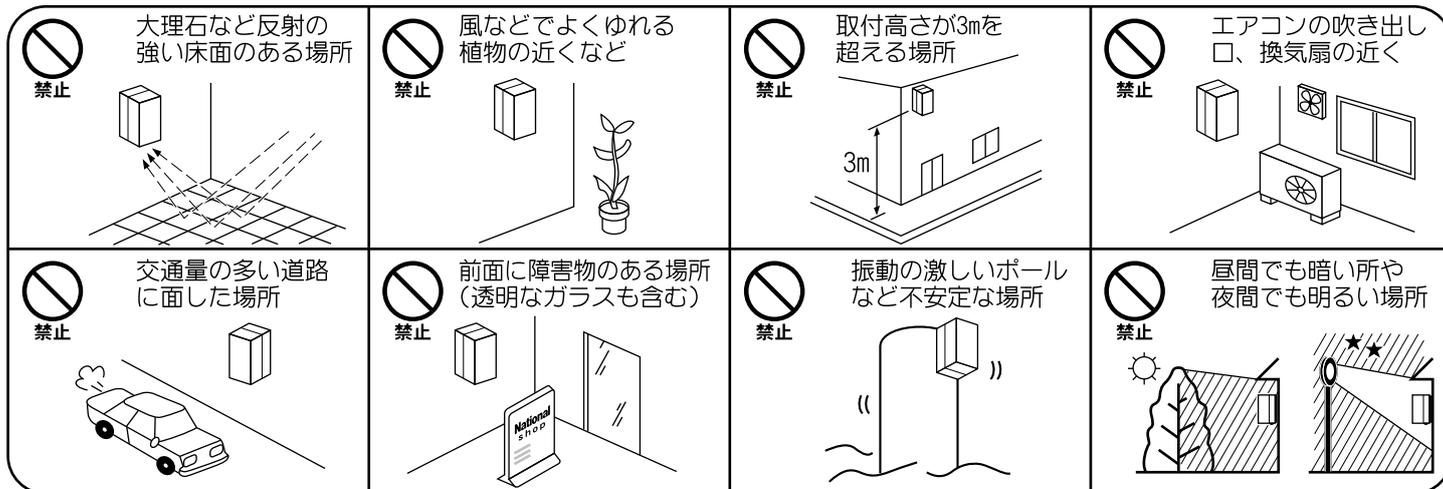
禁止

■**調光器と組み合わせて使用しない**
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●**調光器の取り外しが必要です。**

この紙は再生紙を使用しています。

施工前にお読みください

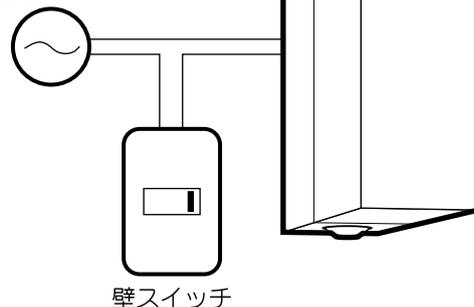
設置場所についてのご注意

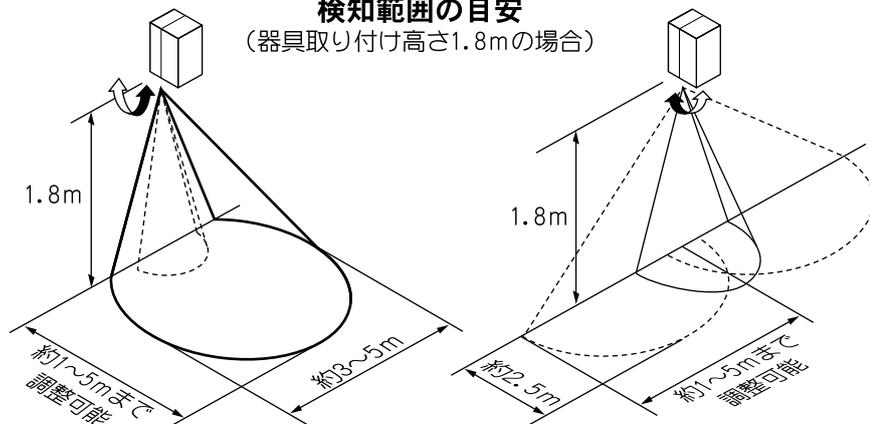
●次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

配線についてのご注意

●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）

●壁スイッチを設けないと‥‥
- 点灯に異常が発生したときに、リセットできません。
- 連続点灯（☞取扱説明書4ページ参照）への切り替え操作ができません。

●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）

●壁スイッチはセンサ器具1台につき1個で使用してください。
1個のスイッチに２台以上のセンサ器具を接続すると、連続点灯への切り替え操作の際に、すべての器具が同時に切り替わらないことがあります。

センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約20度動きます。）
●器具の取り付け高さ1.8m（標準）～3mの間では、検知範囲は変わりません。

ご注意
- この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物・自動車など人以外の動きも検知して点灯する場合があります。
- 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。
- 静止している人は検知しません。

調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

Z213_200503A

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

付属部品

木ネジ
（2本）

接地端子
ネジ

3
端子台

ソケット

袋ナット
（2個）

2

カバー

取付台

5
袋ナット

取付方向
表示

電源線

本体

4
調整ツマミ

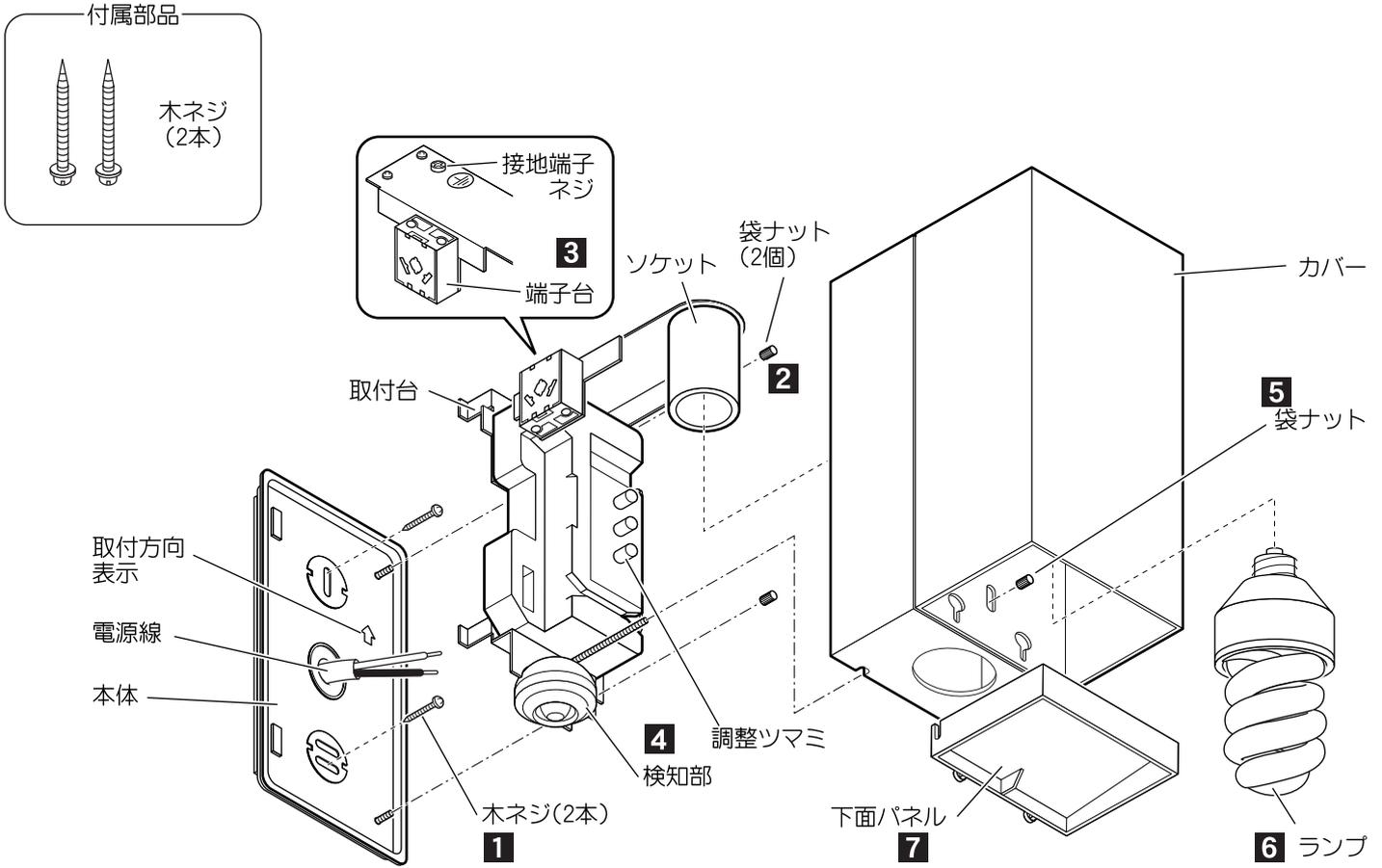
検知部

木ネジ(2本)

1

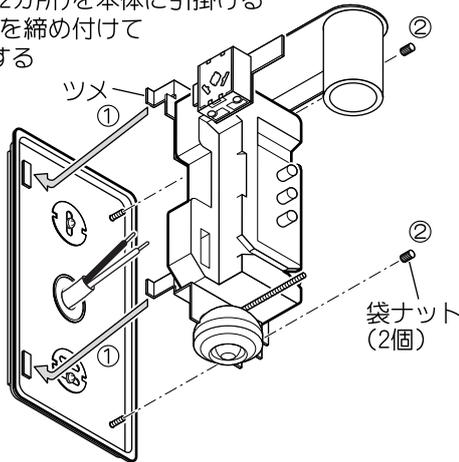
下面パネル

7

6 ランプ

1 付属の木ネジ(2本)で本体を取り付ける

・取付ピッチ：66.7mm
・取付方向表示の方向に従って、取り付ける。

2 袋ナット(2個)で取付台を取り付ける

①取付台のツメ(2カ所)を本体に引掛ける
②袋ナット(2個)を締め付けて
　取付台を固定する

3 端子台に電源線を接続する

・適合電線　VVFφ1.6、φ2.0単線

電源線の外し方
マイナスドライバー等で解除穴を押しながら電源線を引き抜く

・接地端子ネジからＤ種(第3種)
　接地工事を行う。

電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したＥＭ(エコマテリアル)ケーブルをご使用の場合、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。

4 検知範囲と調整ツマミを設定する（次ページ参照）

・カバーを取り付ける前に必ず行ってください。

5 袋ナットでカバーを取り付ける

6 ランプを取り付ける

7 下面パネルを取り付ける

・下面パネルの突起部を持ち、
　凸部(2カ所)をカバーの穴
　(2カ所)に引掛ける。

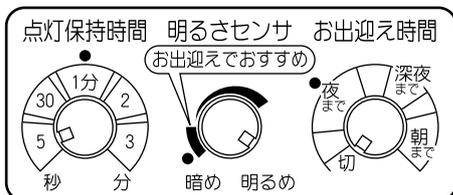
Z213_200503A

検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます

設定の前に
①壁スイッチをOFFにする
②カバーを取り外す

1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

[手順]
①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする

点灯保持時間 ——— 「5秒」(左いっぱいに回す)
明るさセンサ ——— 「明るめ」(右いっぱいに回す)
お出迎え時間 ——— 「切」(左いっぱいに回す)

②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

・検知部は、全方向に約20度動きます。
・センサの検知範囲は、☞2ページ「センサの検知範囲」をご参照ください。

③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

⇒約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は以下の原因が考えられます。

・お出迎え時間が「切」になっていない ⇒ お出迎え時間を「切」にする
・センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る
・連続点灯になっている(検知部が赤く光ったまま) ⇒ 壁スイッチを一度OFFにし、10秒以上おいて再び壁スイッチをONにする

④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

以下の2種類の使いかたができます。(詳しくは ☞取扱説明書4ページ)

使いかた	お出迎えモード	ON/OFFモード
動　作	暗くなったら点灯、設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯
おすすめのツマミ設定	点灯保持時間 明るさセンサ お出迎え時間 (お出迎えでおすすめ) 1分 30 2 5 3 秒 分 暗め 明るめ 夜まで 深夜まで 朝まで 切	点灯保持時間 明るさセンサ お出迎え時間 (お出迎えでおすすめ) 1分 30 2 5 3 秒 分 暗め 明るめ 夜まで 深夜まで 朝まで 切
詳しい設定方法	☞ 取扱説明書 5ページ	☞ 取扱説明書 6ページ

・昼間でも暗い場所では、お出迎えモードが正しく動作しないことがあります。

3 カバーを取り付ける

☞3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

4 壁スイッチをONにする

⇒壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意 ●お出迎えモードに設定した場合
壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なくお出迎え点灯は約4時間で終了します。
翌日より設定した時刻通り終了します。

東洋エクステリア株式会社

取説コード
Z213

200503A_1009